

ニキ・ド・サン＝ファール

Niki de Saint-Phalle

1930-2002 フランス

アーティスト。アメリカ人の母とフランス人の父の間に生まれる。23歳のとき神経衰弱で入院し、その後絵を描き始め、絵具を埋め込んだレリーフを撃つ「射撃絵画」のパフォーマンスを開始。その後彫刻「ナナ」シリーズなど、女性をテーマとした作品を多く制作する。

1930 - 2002 France

Artist. She was born under an American mother and French father. At the age of 23 she suffered a nervous breakdown. Since her hospitalization she started painting and began her performance of "Shooting Paintings" conducted through shooting paint-implanted reliefs. Later she continued creating works themed on women such as the "Nana" sculpture series.

ニキ・ド・サン＝ファール

鉄の台座の上で

踊っている小さなナナ

(ジャン・ティンゲリーとの共作)

1981年

ポリエステル樹脂に

ポリウレタン塗料、鉄



Niki de Saint-Phalle

Petite Nana Dansante sur Socle Fer (collaboration with Jean Tinguely)

1981

Polyurethane coating paint on polyester foam, iron base

赤、青、黄色などのあざやかな色でできたこの「ナナ」（フランス語で「女の人」の意味）という名前の彫刻を多数制作。「ナナ」と総称される大柄で風変わりな造形の女性は、友人の妊婦の姿からヒントを得たとされ、ニキ・ド・サン＝ファールのトレードマークとなった。

本作品の台座の部分は、彫刻家ジャン・ティンゲリー（1925～1991）が制作している。ニキは、1971年、長年同居していたティンゲリーと結婚。